

須賀川市立義務教育学校 稲田学園 令和6年度グランドデザイン

第7次福島県総合教育計画

- 子どもたち一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せである「Well-being」の実現
- 福島の良さを大切に「福島ならではの」教育の推進
- 学びの変革「個別最適化された学び」「協働的な学び」「探究的な学び」

県中教育事務所学校教育指導の重点

- 「ゆめ」「願い」がかなう教育の推進

教育目標

9か年の系統的・継続的な学びを通して、豊かな知性や感性及び健やかな身体を育むとともに、志を高く持ち、未来を創造するために必要な人間性や社会性を身につけたたくましい児童生徒を育成する。

**やさしく かしく たくましく
未来を拓く 稲田の子**

須賀川市教育委員会学校教育指導の重点

- 1 確かな学力の育成
- 2 豊かな心と体の育成
- 3 新たな学びの環境整備 ⇒「授業と授業研究を第一優先にした学校作り」

小中一貫教育「須賀川モデル」

めざす学校像

- 子ども達の笑顔と、教職員の自信が満ちあふれ、保護者から信頼され、地域から愛される学校
- 子どもが楽しく生活・学習できる学校
 - 教職員が協働して教育活動を創造していく学校
 - 保護者や地域と協働する地域に開かれた学校

めざす児童生徒像

- 思いやりがあり、きまりを守る子ども
- 夢や目標をもって、自ら学び続ける子ども
- 心と体がたくましく、最後までがんばる子ども
- ふるさとを愛し、社会や未来を拓く子ども

めざす教職員像

- 義務教育学校9年間の子どもの育ちに責任をもち、子ども一人一人の健やかな成長を追求する教職員
- 授業を大切にする教職員
 - 子どもを大切にする教職員
 - 同僚を大切にする教職員
 - 保護者・地域から信頼される教職員

豊かな心

【指導の重点】

- ・ 他人を思いやる心の醸成
- ・ 規範意識の醸成
- ・ 積極的な生徒指導の推進
- ・ 望ましい人間関係の育成
- ・ あいさつ、言葉遣いの指導の徹底
- ・ いなだスタディ(キャリア教育・ふるさと教育)の推進

【具体的な取組】

- 相手の立場に立って行動する子どもの育成
- 「いじめ」を許さない集団作り
- 「特別の教科 道徳」の充実
- 情報モラル教育とメディアコントロールの推進
- 児童生徒会と委員会活動の充実
- Q-Uテストの有効活用
- 「いなだあいさつ」、言葉遣いの継続指導
- 正しい勤労観・職業観の育成
- 「須賀川・稲田」への郷土愛の育成

確かな学力

【指導の重点】

- ・ 誰もが「わかる・できる授業」の実践
- ・ ペア、グループでの学び合い学習実践
- ・ 基礎的・基本的な知識・技能の習得
- ・ ICTを効果的に活用した授業実践
- ・ 家庭学習と読書の習慣化

【具体的な取組】

- 現職教育を核とした主体的な学び・協働的な学びの実践
- 前期課程での一部教科担任制の導入
- 基礎・基本の習得
- 家庭学習の充実(学習の習慣化づくり)
- タブレット端末等のICT活用
- メディアセンターの活用と読書活動の充実
- 特別支援教育の充実
- 外部講師の積極的招聘

たくましい心と体

【指導の重点】

- ・ 基本的生活習慣の確立
- ・ 体づくり活動の実践
- ・ 自主的な健康管理の実践
- ・ 安全教育、安全指導の徹底

【具体的な取組】

- 基本的生活習慣の確立
- 「早寝・早起き・朝ごはん」の推進
- 食育の充実(MY弁当の日等)
- 業間、放課後等の運動の促進
- 各種大会に向けての取組と積極的参加
- 部活動の体験入部
- 運動身体プログラム等を組み入れた体育の授業改善
- 地域学校保健委員会の開催
- 「自分手帳」の管理と活用
- 防災教育・放射線教育の充実
- 交通事故・学校事故の防止

学校事故防止

安全点検 危険発生時対処要領の見直し
防災教育・放射線教育 関係機関連携 緊急メール

開かれた学校づくり

学園だより・HP等での情報発信 学校評議員会
地域・関係機関との協働 地域運営協議会

学校評価による改善

各種評価の収集・分析による改善
保護者アンケート・学校関係者評価の活用

教職員の資質向上

校内研修の充実 多忙化解消アクションプラン
人事評価 不祥事根絶 セーフティネット機能高揚